

2020年度 当初予算

自治体における予算とは、市民の皆さんの生活に係わるごみ処理や小・中学校の管理、公園の管理、道路の管理などに必要な「お金」をそれぞれ計算し、積み上げたもの。2020年度の中野市はどう運営されるのかという方針です。

2020年度は、第2次中野市総合計画前期基本計画の5年目となります。引き続き、当市の特徴を活かし、目指す姿である「住みよさで選ばれるまちへ」の実現に向けて、各種施策をより効率的かつ効果的に展開していく必要があります。

そのため、市民生活の向上、地域の活性化、移住者の増加に直結する事業を、ソフト・ハードの両面から実施することにより、「元気なまち、人が集うまち、夢がかなえられるまち・中野市」を実現するための予算としました。具体的には、保育・子育て環境の充実、若い世代への新規就農に対する支援、豊かな農産物を活かした「信州なかの」ブランド化の推進、地域資源を活かした観光交流・情報発信のほか、健康長寿と福祉のまちづくりの推進などに取り組んでいきます。



▲2020年度予算の詳細は市公式ホームページに掲載しています



▲2020年度の主な事業は実施計画を参照してください

一般会計予算
209億6400万円

前年度当初比 12億5300万円の減 (94.4%)

中野市の総人口
42329人

2020年3月1日現在

市民1人当たりに使われる
予算

49万5263円

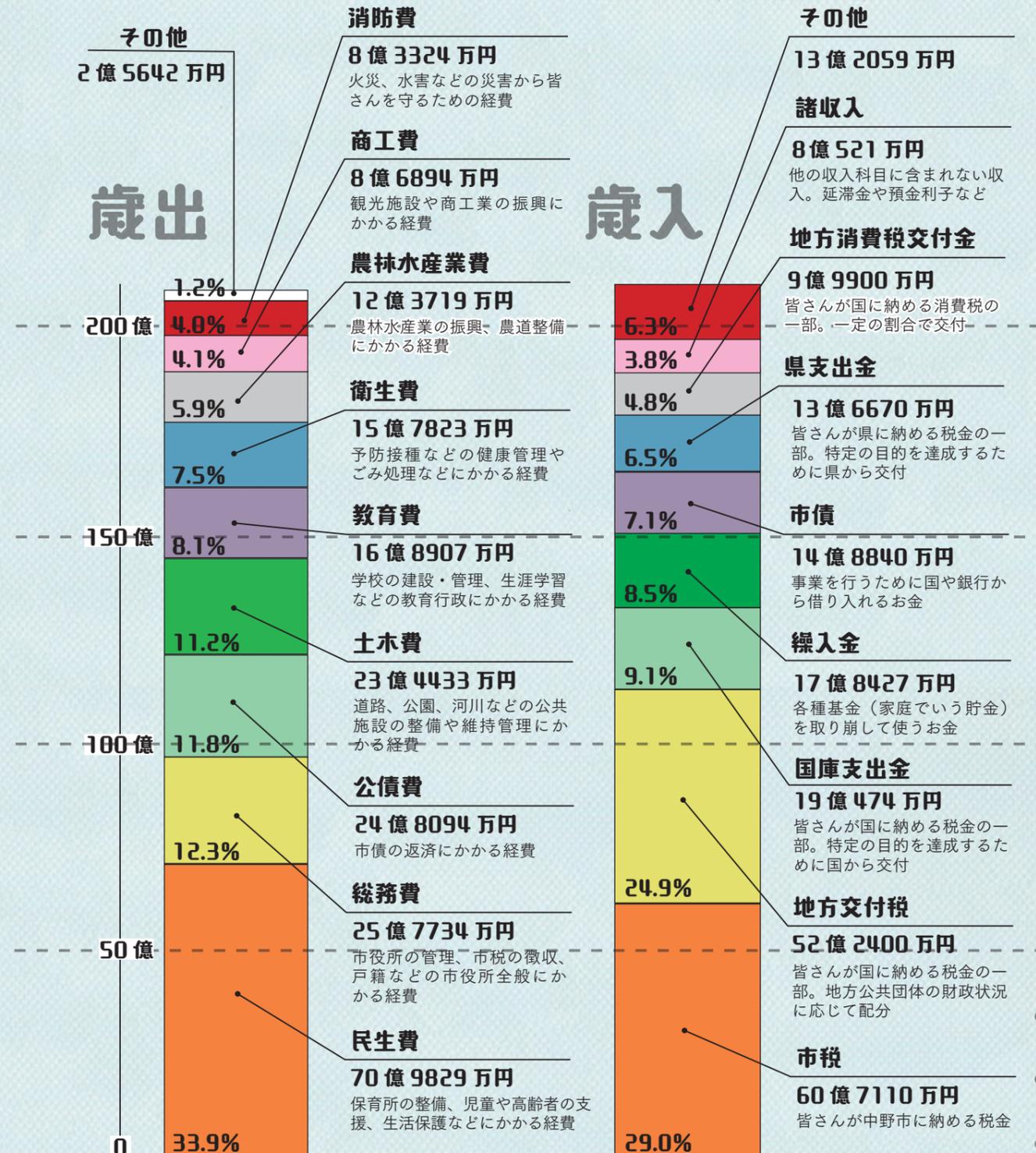


特別会計・企業会計

市が行う事業の大部分は一般会計で扱います。しかし、行政にかかる全ての経費を一つの会計で扱おうとすると、複雑で分かりにくくなります。そのため、特定の事業を行う特別会計や企業会計があります。

特別会計は、主に保険料や使用料などの収入で賄われます。企業会計は、事業で得る収入で支出を賄う独立採算型の会計になります。

会計名	予算額	前年度比
特別会計		
国民健康保険事業	48億2287万円	3.3%減
後期高齢者医療事業	5億3713万円	6.2%増
介護保険事業	47億3461万円	4.9%増
倭財産区事業	63万円	19.0%減
永田財産区事業	50万円	29.9%増
中野財産区事業	156万円	2.9%減
計	100億9730万円	0.9%増
企業会計		
下水道事業	38億7133万円	7.1%減
水道事業	14億7176万円	4.6%増



一般会計